


- 九州・四国・中国地方にお住まいの方および事務所がある団体は地元の部落解放同盟各県連合会にお申し込み・お支払いください。
- 大阪同和・人権問題企業連絡会、東京人権啓発企業連絡会、「同和問題」にとりくむ宗教教団連帯会議にご所属の方、団体はご所属団体にお申し込み・お支払いください。
- 沖縄県内/上記以外の方・団体は、下記①or②の方法で、6月2日(月)までに部落解放・人権研究所へお申し込みください。

① 専用フォームでの申込


下記いずれかの方法で講座専用の申込フォームに接続し、回答・送信してください。

- (1)下の二次元コードから
- (2)研究所ホームページ「最新の講座・イベント」or「講座・イベント参加」の「開催中の講座」にある「第50回部落解放・人権西日本夏期講座」ページ内「参加申込方法」欄から




2日間

〈入金確認後、参加券を送ります〉



学生・18歳以下



1講演毎
(沖縄在住者限定)

② FAX、郵送またはE-mailでの申込

(1)名前、(2)連絡先(郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス)(3)参加人数、(4)振込名義が(1)と異なる場合はその名義をご記入の上、下記連絡先までお送りください。

※参加人数把握のため、事前申込にご協力ください。※申込みの際の個人情報は厳重に管理し、講座運営上の目的以外には使用いたしません。
 ※諸事情によりキャンセルされる場合は6月10日(火) 17時までにご連絡をいただければ返金します。(振込手数料はご負担ください)
 ※講座の趣旨に反する参加は、お断りする場合がございます。

①or②の方法でお申込みの方のお支払い方法

クレジット決済またはコンビニ決済

研究所ホームページ内「オンラインショップ」から手続き
※右の二次元コードから接続できます。



銀行振込 *振込手数料はご負担ください。

りそな銀行桜川(さくらがわ)支店
普通預金0170694
部落解放・人権西日本夏期講座実行委員会
ブラクカイホウ.ジソケンシニホノカキコウザジツクウインカイ

(一社)部落解放・人権研究所 (講座事務局・問合せ・連絡先)

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F TEL.06-6581-8576 / FAX.06-6581-8540 E-mail nishinatsu@blhrii.org

会場周辺地図



A会場 琉球新報ホール ●駐車場なし ●ゆいレール「県庁前駅」から約250m、「旭橋駅」から約500m

B会場 沖縄県男女共同参画センター・ていりる ●駐車場80台(複合施設のため共用)
●ゆいレール「県庁前駅」乗換「パレットくもじ前」または「琉銀本店前」から那覇バス市内線①・②・⑤・⑥または市外線④「三重城」下車約350m
★那覇空港から：タクシー10～15分

C会場 沖縄県青年会館 ●駐車場25台 車高制限1.6M ●ゆいレール「県庁前駅」から500m、「旭橋駅」から500m

那覇空港
沖縄県庁周辺

ゆいレール
[沖縄都市モノレール]
「県庁前駅」または「旭橋駅」

バス
99番、120番、125番ほか
「県庁北口」または「那覇バスターミナル」

第50回 部落解放・人権西日本夏期講座

日時 2025年6月12日(木) 13:00～16:50
13日(金) 9:30～12:30

- 会場**
- A会場 琉球新報ホール** (定員600名)
那覇市泉崎1-10-3 TEL.098-865-5255
 - B会場 沖縄県男女共同参画センター・ていりるホール** (定員480名)
那覇市西3-11-1 TEL.098-866-9090
 - C会場 沖縄県青年会館大ホール** (定員300名)
那覇市久米2-15-23 TEL.098-864-1780

参加・資料代 **6,000円** (2日間/参加・資料代、税込) ※主催団体はインボイス制度非登録事業者です。
学生・18歳以下 無料 **沖縄県在住者限定** 1講演 **1,500円**



主催：第50回部落解放・人権西日本夏期講座実行委員会

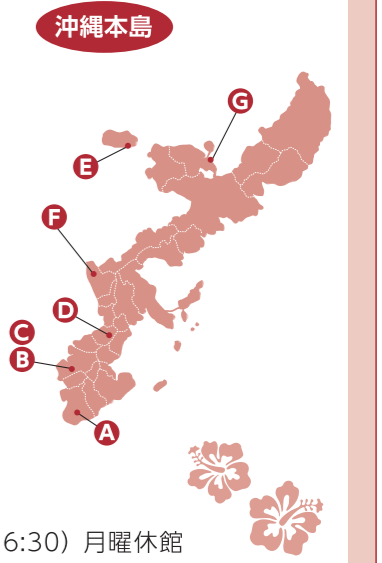
構成団体 NPO法人沖縄県自立生活センター・イルカ (公社)沖縄県精神保健福祉会連合会 おきなわ障害者人権センター (一社)部落解放・人権研究所

本講座の参加券提示で下記の平和・人権関連施設の入館料が**団体割引適用**となります。対象期間:6/10(火)～16(月)

- A ひめゆり平和祈念資料館** 9:00～17:25 (最終入館 17:00) 無休
糸満市字伊原671-1 TEL.098-997-2100 大人**450円▶400円**
- B 不屈館 瀬長亀次郎と民衆資料** 10:00～17:00 (最終入館 16:30) 月・火曜休館
那覇市若狭2-21-5 TEL.098-943-8374 大人**500円▶400円**
- C 対馬丸記念館** 9:00～17:00 (最終入館 16:30) 木曜休館
那覇市若狭1-25-37 TEL.098-941-3515 大人**500円▶450円**
- D 佐喜眞美術館** 9:30～17:00 (最終入館 16:30) 火曜休館
宜野湾市上原358 TEL.098-893-5737 大人**900円▶810円**
- E スチドゥタカラの家** 9:00～17:00 (最終入館16:30) 水曜休館
国頭郡伊江村字東江前2300-4 TEL.0980-49-3047 大人**300円▶250円**

*2025年6月10日(火)～16日(月)有効です。各館休館日・上記期間以外是对応できません。
 *特別展や修学旅行などにより、混雑する場合がございます。ご了承ください。
 *名義後援をいただいている下記施設は入館無料です。

- G 沖縄愛楽園交流会館** 名護市済井出1192 TEL.0980-52-8453 10:00～17:00(16:30) 月曜休館
- F 金城実アトリエ** 中頭郡読谷村儀間121-1 TEL.090-3794-5335 訪問希望は事前にご連絡を



A 会場 琉球新報ホール

●13:30~15:00

沖縄戦後史80年



のぞえ ふみあき
野添 文彬 さん
(沖縄国際大学法学部教授)

2025年は沖縄戦から80年。沖縄の戦後史を紐解きながら、日米安保のもと、過重な負担を担ってきた沖縄からみた日本や日米関係、住民の人権状況などを学び、沖縄への基地の集中という問題の見直しにつなげましょう。

●15:20~16:50

沖縄の
明るさの向こう側



たいら
平良いずみ さん
(GODOM 沖縄ディレクター)

「沖縄の人は何故明るい。明るくないとやっていけないくらい、暗いものを知っているから」。取材で出会った高校生が語った“明るさの向こう側にあるもの”とは!?戦争と不可分な基地から派生する問題から沖縄の現在地をみつめます。

B 会場 ているるホール

●13:30~15:00

ネット上の差別と
表現の自由



あべ たかし
阿部 岳 さん
(沖縄タイムス編集委員)

インターネット上の差別、デマやヘイト投稿の規制に対して、「表現の自由」を盾に反対する論説があります。本当でしょうか？人権保障を求める、差別をなくすための報道の役割について検証しましょう。

●15:20~16:50

在沖奄美出身者の歴史が
照射するもの：
入管制度批判のために



どい ともよし
土井 智義 さん
(明治学院大学国際平和研究所助手)

米国統治時代の沖縄には、仕事を求めて多くの奄美出身者が移住しました。奄美返還後、かれらは「外国人」「非琉球人」とされ、現代日本の入管制度に共通する排外的な施策の対象とされます。在沖奄美出身者の歴史から、入管制度を批判的に考えます。

C 会場 沖縄県青年会館大ホール

●13:30~15:00

あなたが
私のパパですか？



おおた
太田あきの さん
(セルフドキュメンタリー制作者)

基地駐留を背景に、アメリカ人とアジア人の両親のもとに生まれた子ども達は「アメラジアン」と呼ばれます。父を知らないアメラジアンである自身を記録したドキュメンタリーとお話しを通して、沖縄の現状をみつめます。

●15:20~16:50

沖縄における
ハンセン病問題と
隔離政策



もりかわ やすたか
森川 恭剛 さん
(琉球大学人文社会学部教授)

日米に翻弄される歴史の中で、沖縄のハンセン病政策は本土とは異なる道を歩みました。その歴史が患者や家族、社会に与えた影響はどんなものだったのでしょうか。そして現在の沖縄にどんな影響を残しているのでしょうか。

後援団体 部落解放同盟中央本部 同和問題に取り組む全国企業連絡会 (公社) 全国人権教育研究協議会

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 反差別国際運動 (IMADR)

沖縄県 沖縄県教育委員会 那覇市 那覇市教育委員会 沖縄県市長会 沖縄県町村会 琉球新報社 沖縄タイムス社
朝日新聞社那覇総局 毎日新聞社那覇支局 読売新聞西部本社 産経新聞社 共同通信社那覇支局
沖縄テレビ放送 琉球放送 琉球朝日放送 NHK沖縄放送局 エフエム沖縄 ラジオ沖縄

A 会場 琉球新報ホール

●9:30~10:50

メディアにおける
ジェンダー問題



つだ たまき
津田 環 さん
(テレビマンユニオン所属 / テレビプロデューサー)

ジェンダーや性暴力に対するメディアの認識が問われています。ドラマ「セクシー田中さん」原作改編問題やフジテレビ騒動に通じるジェンダー問題を避けようとするメディア側の姿勢と組織内の意思決定のあり方等について迫ります。

●11:10~12:30

生活史から見た戦後史
～ジェンダーの視点から



へんな もえ
平安名 萌恵 さん
(日本学術振興会特別研究員 PD (大阪公立大学))

地上戦や復興、米施政権下を経て本土復帰と、日本の中でも特異な歴史を背景のもと、沖縄の市井の人びとの暮らし、特に女性達の暮らしはどうだったのでしょうか。生活史を通して見える沖縄社会の有り様をひもときます。

B 会場 ているるホール

●9:30~10:50

部落差別は
いかにして作られたか
～最新の部落史研究から



やの ちよみ
矢野 治世美 さん
(熊本学園大学社会福祉学部准教授)

「部落の歴史」を通して、部落に生きた人びとの仕事や生活、差別への抵抗を知り、現代の「部落差別」を生み出してきた背景を学ぶことで、すべての人が差別から解放された未来の創造を実現につなげましょう。

●11:10~12:30

女性差別撤廃条約と
琉球女性



おやかわ ゆうこ
親川 裕子 さん
(Be the Change Okinawa 代表 / 大学非常勤講師)

2024年10月、国連・女性差別撤廃委員会で沖縄の女性達が基地から派生するさまざまな問題について傍聴参加やロビー活動を行いました。審査の様子や女性達が届けた声、日本政府に対する委員会からの勧告について報告します。

C 会場 沖縄県青年会館大ホール

●9:30~12:30 シンポジウム 差別のない社会へ 差別禁止法をつくろう



かめはま れいこ
亀濱 玲子 さん
ハンセン病と人権
市民ネットワーク宮古
共同代表



たかみね ゆたか
高嶺 豊 さん
非営利活動法人
エンパワメント沖縄
理事長



たけば あずさ
竹葉 梓 さん
市民団体ていーだあみ共同代表 /
琉球大学ヒューマンライツセンター
特命講師



たにがわ まさひこ
谷川 雅彦 さん
一般社団法人
部落解放・人権研究所
代表理事

日本国憲法には『差別されない権利』が謳われていますが、さまざまな差別が私たちが人間らしく生きることを妨げています。差別が許されないことや差別をなくすことには多くの市民が同意をしますが、差別は道徳や思いやりでなくすることはできません。差別のない人権が尊重される社会の実現のために憲法の理念を具体化する差別禁止法の必要性についてハンセン病問題、障害者問題、LGBTQ問題、部落問題をテーマに考えます。

日本労働組合総連合会沖縄県連合会 沖縄県教職員組合 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
自治労沖縄県本部 沖縄県司法書士会 沖縄YWCA きょうされん沖縄支部 沖縄愛楽園自治会
金城美アトリエ 佐喜真美術館 公益財団法人対馬丸記念会 ひめゆり平和祈念資料館 不屈館・瀬長亀次郎と民衆資料
一般財団法人わびあいの里 関西沖縄文庫 琉球大学 沖縄県立芸術大学 沖縄県立看護大学 名桜大学
沖縄キリスト教学院大学 沖縄国際大学 沖縄大学 沖縄女子短期大学

(順不同)